

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	2011	事務事業名	中小企業経営支援事業	細事務事業名	中小企業振興資金融資事務	公的関与	9						
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	3 商業の振興	主要施策	(2) 商業機能の強化						
	事業の対象	東温市内の中小企業者			根拠法令	東温市中小企業振興資金融資条例							
	事業の目的	最終的	市が融資制度の運用資金を金融機関に預託するとともに、愛媛県信用保証協会が信用保証を行い運用しており、三者の相互協力により、市内の中小企業の経営の安定、設備の近代化に必要な資金の融通を円滑にすることを目的としています。			今年度							
	活動内容	融資限度額は500万円(融資期間5年以内)です。											
		貸付返済期日までに完済後、利子の一部と信用保証料の全額を補助します。											
		東温市中小企業振興資金融資審査会で融資の審査を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		新規融資件数	資金需要度		件	目標	30	30	30	30			
			実績	36		24							
新規融資金額		資金需要度		円	目標	150,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000				
					実績	150,000,000	92,000,000						
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		30,000千円	35,000千円	35,000千円							
		一般財源		136千円	102千円	167千円							
		計(A)		30,136千円	35,102千円	35,167千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.163人 1,212千円	0.163人 1,231千円	0.163人 1,229千円							
		臨時職員工数・経費		0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円							
	全体事業費(A+B)		31,348千円		36,333千円	36,396千円							
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	現下の厳しい経済状況により、急激に中小企業の資金需要が高まっており、経営体質や経営基盤の強化、安定を図るため、円滑に必要な資金の融通を行う必要があります。												
有効性	中小企業の資金の融通を円滑に行うことにより、経営体質や経営基盤の強化、安定を図ることができます。												
達成度	現下の厳しい経済状況により、急激に中小企業の資金需要が高まっておりますので、金融機関への運用資金の預託金を増額し、対応しています。												
効率性	この制度は、東温市と愛媛県信用保証協会と金融機関の三者の相互協力により、運営している融資制度です。												
当面の課題	現下の厳しい経済情勢により、このところ急激に中小企業の資金需要が高まっており、それに応えるための融資枠の確保が必要となります。												
改訂計画	資金需要の高まりによる、融資状況の推移を見ながら、金融機関への預託金の増額を検討します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	本市における既存企業の多くが、経営規模の小さな零細企業であり、社会経済の影響をダイレクトに受ける厳しい環境にあることから、継続的な経営支援は必要です。特に、長引く景気停滞により経済不況下において、運転資金等資金需要が増大傾向にあることから、引続き融資状況等の推移を注視するとともに他団体の対応も見据えながら融資事業(預託金の増額等)の適宜検討が望まれます。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	2019	事務事業名	観光振興事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	県内外観光客				根拠法令							
	事業の目的	最終的	観光情報の発信、問い合わせ対応等により、観光客誘致、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図ります。				今年度						
	活動内容	市内観光情報の発信				各種観光イベントの支援							
		観光情報の問い合わせ対応				坊っちゃん劇場等民間・公共観光施設の支援							
		観光関係の各種調査事務											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		観光入込客数		観光客増加度			千人	目標	1,210	1,220	1,230	1,300	
坊っちゃん劇場入場者数		入場者数増加度			人	目標	100,000	100,000	100,000	120,000			
						実績	1,239	1,246					
						実績	92,871	87,528					
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	29 千円	67 千円	99 千円								
	計(A)	29 千円	67 千円	99 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.516 人	3,836 千円	0.516 人	3,898 千円	0.516 人	3,890 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,865 千円		3,965 千円		3,989 千円						
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	観光情報の発信、問い合わせ対応等により、東温市の観光名所を積極的にPRし、観光客誘致、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図る必要があります。												
有効性	東温市への交流人口の拡大により、地域経済の活性化が図れます。												
達成度	西日本初の地域文化発信の常設劇場である坊っちゃん劇場の知名度も、市長のトップセールスもあり、年々上昇し、観光入込客数も増加傾向を示しています。												
効率性	広域観光連携推進協議会（東温市、松山市、砥部町）で相互に連携を図り、全国的に有名な道後温泉や砥部焼への観光客をうまく東温市へ誘致する（回遊させる）宣伝活動を共同で実施します。												
当面の課題	年間を通じて、観光情報について多種多様な問い合わせが市内外（マスコミも含む）から寄せられ、それに対応するため、広範囲に及ぶ情報収集が求められています。												
改 革 画	サービスの向上、事務負担軽減のためにも、観光資源・観光情報のデータベース化、共有化の実施を予定しています。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	観光振興は地域経済の活性化の重要な要素であるが、観光資源、観光誘客数、観光認知度等総合的にも観光力は乏しい状況にあるため、観光推進活動団体の中枢となる市観光協会（商工会内）や広域連携による観光振興の推進に加え、新たな観光魅力づくりによる誘客を目指すことも必要です。今後は、自然志向や健康志向等の顧客ニーズの観点から本市の恵まれた自然観光資源や文化財資源などを活かした新たな周遊観光ルートの開発等が望まれます。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	2028	事務事業名	観光宣伝事業	細事務事業名		公的関与	8						
課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間 18年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策 (1)観光振興体制の確立						
事業の対象	県内外観光客			根拠法令									
事業の目的	最終的	市内観光地に対する認知度の向上、観光客誘致の促進、観光入込み客数の増加を図ります。			今年度								
活動内容	観光キャラバン隊を編成し、観光PRキャンペーン活動												
	観光宣伝用資材の作成												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	観光キャラバン活動		実施回数		回	目標 3	3	3	3				
	観光入込客数		観光客増加度		千人	目標 1,210	1,220	1,230	1,300				
	坊っちゃん劇場入場者数		入場者増加度		人	目標 100,000	100,000	100,000	120,000				
						実績 3	3						
						実績 1,239	1,246						
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
	直接事業費	国・県支出金	平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	375 千円	343 千円	1,615 千円								
		計(A)	375 千円	343 千円	1,615 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.187 人	1,390 千円	0.187 人	1,413 千円	0.187 人	1,410 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,765 千円		1,756 千円		3,025 千円							
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	東温市の認知度及びイメージアップを図るため、行政が中心となり事業を進める必要があります。												
有効性	観光PRキャラバンを継続的に実施することにより、より多くの人の目に触れ、東温市のイメージアップを図る効果が得られます。												
達成度	市外からの誘客促進効果が高く期待できる坊っちゃん劇場を前面に打ち出した観光キャラバンを実施することにより、東温市への観光入込客数は、順調に増加しております。												
効率性	広域観光連携推進協議会(東温市、松山市、砥部町)で相互にうまく連携を図り、全国的に有名な道後温泉や砥部焼への観光客をうまく東温市へ誘致する(回遊させる)宣伝活動を共同で実施します。												
当面の課題	事業の内容が主に観光宣伝であるため、事業実施による明確な効果を示すことが難しい面があります。												
改革計画	坊っちゃん劇場を前面に打ち出した観光キャラバンを今治、福山、尾道、高松、徳島、広島方面で実施し、誘客効果を生み出しましたが、今後も、大阪、中国、九州方面等、東温市に近い地域を主軸にPR活動を行い、更なる観光客の増加を目指します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	坊っちゃん劇場を観光の核とした誘客宣伝活動を近県自治体や商工会議所、観光協会を中心に行っているが、認知度も高まり、一部にPR効果が出ていることから継続していく必要があります。引続き、西日本方面をターゲットにした観光宣伝活動を広げていくことが望まれます。また、広域的な観光誘致宣伝活動は、連携共同による相乗効果を図る上から今後も連携を維持していく必要がありますが、他市の観光資源に埋没されないような誘客プラン等の検討も望まれます。												